

桃山学院 和泉キャンパス新校舎建設寄付金募集趣意書

桃山学院は 1884 年、英国聖公会宣教協会（CMS）が大阪の川口外国人居留地（大阪市西区）に三一小学校（男子英学校）が創設したことに端を発します。

以後、高等英学校や中学校の開設、キャンパスの移転等、幾多の変遷を経て、昭和町キャンパスに桃山学院中学校と桃山学院高等学校を、和泉キャンパスに桃山学院大学を、堺キャンパスに桃山学院教育大学を設置するに至りました。

また、本学院は 2024 年度に本学院創立 140 周年・桃山学院大学開学 65 周年の節目を迎えます。これもひとえに、本学院の発展にご支援いただいた皆様のご尽力の賜物と、深く感謝申し上げます。

今般、本学院は、学校法人桃山学院将来構想（以下「将来構想」という。）を策定いたしました。将来構想は、中長期計画である「第一期中長期ビジョン（2005 年度-2012 年度）」、「第二期中長期ビジョン（2013 年度-2022 年度）」に次ぐ、第 3 ステージとなる中長期計画であり、2023 年度から 2027 年度までの 5 年間の計画です。

将来構想において、本学院は「キリスト教精神に基づく教育を通じて、社会課題の解決を目指す高い志と奉仕の心をもった人（サーバント・リーダー）を育て、持続可能な地域共生社会を実現」というパーパスおよび「地域と共に発展する」というビジョンを新たに策定するとともに、将来構想に基づくキャンパス整備事業の一環として、和泉キャンパスに新校舎を建設することといたしました。

地域の社会課題を解決できる人材を育てるため、本学院は、和泉キャンパスの新校舎を新たな拠点とし、産官学民連携しながら、地域の未来を共創して参ります。また、和泉キャンパスに通う、すべての学生に対して最適な学修環境を提供すべく整備して参ります。あわせて、新校舎建設を契機として、先端テクノロジーも活用しながら、本学院は、ポストコロナ期の新たな学びへ対応する、未来志向のキャンパスを創造して参ります。

しかしながら、現在、少子高齢化等の社会情勢の著しい変化により、本学院の経営環境は他の学校法人同様、厳しい局面を迎えております。こうした現状を踏まえ、和泉キャンパスの新校舎建設を目的として「桃山学院 和泉キャンパス新校舎建設寄付金」を募集いたします。

本事業を推進するため、教職員はもとより、同窓の皆様、生徒・学生の保護者・保証人の皆様、企業の皆様の深いご理解とご協力が大きな支えとなることは言うまでもありません。

つきましては、本事業の推進に倍旧のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2024年4月

学校法人 桃 山 学 院

理事長 出 田 善 蔵